



# YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1787号

会 長	橋本日吉	会長エレクト	入江公敏	事 務 所	大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号
副 会 長	高橋 清	幹 事	辻 彰彦		大和中央ビル 301
会報委員会	石川達男	松崎正実	梅田秀雄		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
例 会 場	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				E-mail : naka-office@ynrc.jp
					URL : http://www.ynrc.jp

## 国際ロータリーテーマ

Be a gift to the world  
「世界へのプレゼントになろう」  
RI会長 K.R.“ラビ”ラビンドラン

## 大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「みんなのために…  
ワクワク楽しく そして仲間を創ろう！」

【本日のプログラム】10月24、25日 「R2780地区 地区大会」 大磯プリンスホテル、茅ヶ崎市民文化会館  
【次回予告】10月29日 夜間移動例会 第4回クラブ協議会 「地区大会を終えて」

【第1782例会】平成27年10月15日(木) 【司会SAA】小柳 智裕 君  
【斉唱】「奉仕の理想」 【ソングリーダー】池澤 利男 君  
【ゲスト】さくせいなん様(米山奨学生) 【ピジター】見上 周太 様(綾瀬RC)

## 会長の時間 橋本 日吉 会長

今月は、米山月間でもあります。皆様に配られています小雑誌「Yoneyama shogaku Report」を是非お目通しください。米山奨学生のごことがよく分かります。10月号のガバナー月信を皆さんお読みになったかと思いますが、米山奨学事業の創始者「米山梅吉翁」についてお話をしたいと思います。



ポールハリスがロータリーを創立してから15年後の1920年に、世界855番目の東京ロータリークラブを創設、日本に始めてRCを導入した初代東京ロータリークラブの会長になりました。明治元年1868年2月26日生まれは、ポールハリスより2ヶ月早かった。(昭和21年)1946年4月28日没は、ポールハリスより7ヶ月早かった。ポールハリスとほとんど同年代を生きた米山梅吉翁は、多難な少年期の生活環境も良く似ているところがあった。実業家であり教育者であった米山梅吉翁は、ロータリーの理念を深く理解し、ポールハリスの考えに強く共鳴した一人でした。

1924年には、三井信託銀行創立、1937年には、財団法人緑岡小学校、現在の青山学院初等部を設立、没後6年経って1952年に米山奨学事業の構想が準備され現在に至っています。

米山梅吉翁は、ロータリーの実践を通して次の言葉を残しています。

「ロータリーの例会は人生の道場である」、「例会は自分の足らざるところを知り、学ぶ場であり、揺るぎない信頼関係を築き上げる場である」、「学びて然る後に足らざるを知る」等の教えの如く、人の足らざるところは無限にある。広く会員の中には自分にはない優れたものの考え方、立ち振る舞い、言葉遣い、生きる姿勢、溢れる情熱、能力の知識の深さ、生きた情報等等、ロータリーで学び取ることは、極めて多い。あるいは反面教師的な学びもある。人として品格、教養を高める絶好の場がロータリー活動の中にあるなどとロータリーの重要な価値の共有を積極的に推進した人が、米山梅吉翁でありました。

以上のような素晴らしい理念を引継ぎながら、今月は米山月間でもありますので米山奨学金の支援をしていきたいと思ひます。米山奨学金20,000円・ポリオプラス40ドル以上のご協力を、みなさんよろしくお願い致します。

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 11名(敬称略)
43名	26名	70.27%	76.92%	8名	阿萬、荒井、橋本(吉)、引田、入江、板垣、岸、北島、小松、苗加、梅野

## 幹事報告 辻 彰彦 幹事

- ①国際ロータリー2780地区地区大会の大会決議案について。
- ②ガバナー公式訪問のお礼の手紙代読。
- ③第4回会長幹事会の報告。
- ④10/22(木)は、地区大会の振り替え休会となりますので、お間違いのないようお願い致します。
- ⑤10/25地区大会のバスは11時に北京飯店出発です
- ⑥10/29(木)の夜間例会に、ゲストの方のお誘いのご協力をお願い致します。
- ⑦例会プログラム変更について、11/5「R財団」→11/26夜間例会時に変更。11/19「さがみロボット」→11/5例会時に変更。11/19「東慶州RCとの合同例会」。11/26「岸会員の卓話」→3/10例会時に変更。
- ⑧2/21(日)のRotary Dayは、大和3クラブ合同グリーンキャンペーンで調整中です。
- ⑨李ドンケン(東慶州RC/パスと会長)が10/14にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 委員会報告

姉妹クラブ友好委員会 中島 康次郎 委員長

11月19日(木)に東慶州RCとの合同例会が行われます。今回は大和商工会議所3階大ホールで行ないます。先ずは合同例会を行ってからお食事、懇親会、アトラクション等の予定をしております。例会及び二次会の出席確認のボードを回させていただきます。

本日も例会前に委員会を会長、幹事にご参加頂き開催いたしました。進捗ですが、東慶州からは今年度の各委員長様、新入会員様等16名、キム通訳を含め17名でお出でになられます。

当日はSAAさん、親睦委員会の皆様にもご協力頂きますが、是非クラブ全員でお願いしたいと存じます。また、成田空港へのお迎えや観光案内同行、お見送り等ご同行いただける方も宜しく願います。

## 祝いの方々

親睦活動委員会

長谷川 清 委員長

会員誕生日	北砂 明彦 君	10月18日
	藤田 方巳 君	10月26日
配偶者誕生日	梅田 安代 夫人	10月24日
	神作 道江 夫人	10月27日
結婚記念日	入江 公敏 君	10月18日
	荒井 純寿 君	10月18日
	郡司 守 君	10月20日
	北島 照介 君	10月22日
	梅田 秀雄 君	10月24日
	藤田 方巳 君	10月30日
	後藤 定毅 君	11月3日
創業記念日	石川 健次 君	10月18日
	鈴木 洋子 君	11月1日
	野口 宏 君	11月1日
入会記念日	藤塚 勝明 君	10月16日
	古木 勝治 君	10月18日
	荒井 純寿 君	10月23日
	中島 康次郎 君	10月26日
	引田 俊一 君	10月28日
	高橋 政勝 君	10月30日
	北島 照介 君	11月1日

## 卓 話

「米山奨学金の意義とは」

米山奨学生 サクセイナン 様

皆様、こんにちは。大和中クラブに所属しています、奨学生のさくせいなんです。

まずは、私の生い立ちです。

私は、1993年の7月に、中国の吉林省

吉林市で生まれました。両親ともに中国人です。6歳の時に地元の小学校に入学しました。その小学校に半年通って、一年生の冬休みに両親の仕事の都合で北京に引っ越して、北京の小学校に転入学



しました。2005年に北京の小学校を卒業して、地元  
の中学校に入学しました。

## 私の生い立ち

- \* 1993年7月 吉林省吉林市で誕生
- \* 1998年9月 吉林省吉林市船营区二十小学校に入学
- \* 1999年2月 北京市大興区第九小学校に転入学
- \* 2005年7月 北京市大興区第九小学校卒業
- \* 2005年9月 北京市大興区第七中学校に入学
- \* 2006年8月 来日、東京都江戸川区立西葛西中学校に転入学
- \* 2009年3月 東京都江戸川区立西葛西中学校卒業
- \* 2009年4月 東京都立国際高校入学
- \* 2012年3月 東京都立国際高校卒業
- \* 2012年4月 慶應義塾大学入学
- \* 2016年3月 慶應義塾大学卒業予定

次に来日の経緯について説明します。2006年の  
8月末、友達に13歳の誕生日を祝ってもらった一か  
月後に、私は両親と一緒に日本に来ました。実は3  
歳の時に一度日本に来たことがあったのですが、  
幼稚園に半年通っただけで中国に帰ったので、ほ  
とんど記憶がありません。

今回の来日を決めたのも本当に急で、来日の一  
か月くらい前に親に日本へ行かないかと聞かれて、  
うん、行くと答えて、そこから急いで手続きを進めて、  
一か月後には日本にいました。ですので、自分の名  
前すらわからないまま公立の中学校に編入学して、  
私の留学生活を始めました。

日本に来た理由はいくつかあります。先ほど私の  
生い立ちのところでは自分は吉林省で生まれたと説  
明しました。吉林省は中国の北東部に位置して、旧  
満州にあたるところで、反日派と親日派に激しく分  
かれています。日本の名残が強く、日本語を話  
せる人も多いです。

私の両親は中学時代にたまたま学校に日本語  
が話せる先生がいらしたので、外国語は英語では  
なく日本語を勉強したそうです。そのまま大学まで  
日本語の勉強を続けて、卒業した後は日本の仕事  
を請け負う会社に入ったそうです。その関係で、両  
親はしょっちゅう日本に出張して、私が三歳の時に  
日本に来たのもそれが原因でした。私は日本に来  
るまで両親と一緒にいる時間が少なかったため、自  
分が行けば両親と一緒に暮らせると思っていたのが  
私の中の一番の決め手だったのかもしれない。

日本に来た後になぜ私を日本に連れてきたかを

両親に聞いたら、どうも前から計画していたらしい  
です。だから中国では7歳から小学校に入学するこ  
ろを、わざと日本に合わせて一年早く私を小学校  
に入れたらしいです。毎回出張で日本のお土産を持  
って帰ってきたのも、家の中に日本の置物や食  
べ物であふれていたのも、よく日本の話をしたのも  
私に日本に親近感を持ってもらうためだったらしい  
です。

しかし、中学校に入って、寝る時間も無く勉強ば  
かりしていた私を見て、来日の計画を早めたらしい  
です。

よく日本の話を聞かされていたので、日本にと  
ても興味があって、言葉ができない不安よりも楽し  
みが多くて、2006年の8月、私はわくわくして日本  
に来ました。

私の中学生活です。

私が通った江戸川区立西葛西中学校は公立の  
中学校で、外国人は私を入れて2人しかいません  
でした。もう一人は日本語がペラペラでした。

言葉が通じなかったため、授業もわからないし、  
友達もできなくて、最初のころはただただ席に座  
ってボーっとしていました。正直つらかったです。友  
達ができて、授業も半分くらい理解できるようにな  
ったのは一年くらいかかりました。

中学の後半は部活にも入って、英検や漢検も受  
けて、塾にも通って、普通の日本人の中学生と同  
じような中学生生活を送っていました。ちなみに部活  
はガーデニングと手話をやっていました。

高校についてです。

高校は在京外国人入試で都立国際高校に入  
りました。中学と違って、外国人や帰国子女が多い  
学校で、勉強よりも部活やボランティアなど、やり  
たいことをやり放題なところでした。勉強ばかりの  
中国の詰め込み式教育と違って、各々が個性を伸ば  
すところでした。バドミントンやお琴、バンドやボ  
ランティアなどなど、勉強以外のことで忙しかつた  
三年間でした。国立の大学に入るために塾に3年間  
通いましたが、大学を選ぶとき親に初めて反抗し  
て、自分で慶應義塾大学を選びました。

大学生活について。

来日した当時、日本で水道水が直接飲めること  
や春に黄砂が飛ばないことに驚いて、日本と中国  
の環境の違いを感じて、環境問題に関心を持ち始

めました。環境政策をやりたい、中国の環境を改善したいと思って、慶應義塾大学の総合政策学部を選んで、大学に入学しました。

大学では環境関係の授業を中心に履修し、普通は3年または4年からゼミに入るところですが、私は入学してすぐにゼミに入って、今は環境工学環境政策を専門とする先生のゼミと中国の社会を研究している先生のゼミ二つ掛け持ちしています。サークルは学園祭の実行委員会をやっていました。

## 奨学金事情

- \* 大学一年 慶應義塾大学給費奨学金 15万円
- \* 大学二年 学習奨励費 4.5万円\*12か月  
慶應義塾大学給費奨学金 45万円
- \* 大学三年 米山奨学金 10万円\*24か月

奨学金事情です。

国立しか許さなかった両親に私は慶應の学費だけ出していただいて、生活費は自分で負担すると交渉して、なんとか入学を許可してもらいました。もちろん自分でもアルバイトをしていますが、それでも150万近くを稼ぐことは無理に近いです。コンテストに参加して賞金をもらうや、奨学金をいただくなど、ほかの方法で生活費を工面しました。

大学一年の時は、高校の時の成績を基に選考を行った慶應義塾大学給費奨学金、15万円をいただきました。

大学二年の時は、JASSOの学習奨励費、毎月4万5千円と、一年生の時の成績を基に選考を行った慶應義塾大学給費奨学金を受給していました。運よく学年の最優秀学生に選ばれて、通常の15万円に30万円プラスされて、計45万円をいただきました。

そして大学三年になって、ようやく米山奨学金に手が届きました。米山奨学金は数多くある奨学金の中でも特に人気が高く、私が選ばれて本当に光栄に思っています。

米山奨学生になってから。

米山奨学生になってからまず一番先にやったこ

## 米山奨学生になってから

- \* 引っ越し
- \* 勉強道具の購入
- \* 研究に専念

とは学校の近くに引っ越しました。通学に3時間ほどかかっていたので、本当に不便でした。米山奨学金の受給をきっかけに学校まで歩いて10分のところに引っ越しました。バスや電車の時間を気にせずに夜中まで学校で勉強できることが本当にうれしかったです。

次に電子辞書を購入しました。私は第二外国語でフランス語を勉強していますが、電子辞書が高くてなかなか手が出せませんでした。奨学金をいただいて、即購入しました。

さらに、アルバイトの時間を短くしました。アルバイトは高校からずっと続けていて、今まで10種類以上のアルバイトをしたことがあります。自分の力で稼げるのはうれしいですが、4年しかない貴重な時間をアルバイトに過度に費やすのは勿体ないです。米山奨学金のおかげでアルバイトの時間をだいぶ減らすことができました。平日は学校で助手をして、土日は半日ずつ働いていました。

大学三年に上がって、土日も入れてほぼ毎日学校に行っていました。研究室にいる時間と家にいる時間どっちのほうが長いかわからないほど、研究室にこもっていました。米山奨学金のおかげで勉強に専念することができて、本当に感謝しています。

米山奨学金は多額な奨学金をいただくだけではなく、カウンセラーがついて、そしてクラブに所属して、例会に参加することができます。このことで、所属感が生まれて、何かがあるときに相談できる人がいらっやると思うだけで、心強いです。

さらに、グリーンキャンペーンや研修旅行、地区大会などのイベントも充実していて、ほかの留学生や、学校を卒業した留学生の先輩たちと交流することができます。お互いに悩み事を相談したり、励ましあったり、情報交換したりして、さらに友達が増えました。

これからの目標。

卒業を目の前にして、私は就職ではなく、大学院

に進むことに決めました。自分がまだまだ未熟で、環境問題を改善できそうにないと感じたので、さらに大学院に進んで、もっと深く勉強したいと思っています。

振り返ると、私が日本に来て早くも9年目に突入しました。人生の半分近くを日本で過ごしていることとなります。日本は私にとってもう第二の故郷を通り過ぎて、母国の中国とほぼ同じくらいの重みを占めています。日本を自分の国のように感じていることや日本人の習慣や考え方が身についたことは留学において何よりの収穫だと思います。

私は大学から日本に来ていた留学生より長く日本に住んでいます。そのことによって、日本はただの留学先からもう一つのふるさとと変わって、友達もたくさんできて、そしてなにより、物事を考えるときの視野が広がりました。日本に長く住んでいないと日本人の考え方や習慣を理解することは難しいです。日本の礼儀が正しい、マナーが良い、しっかりしているなど良い一面も、いじめや排他的でオープンじゃないなどよくない一面も身を以って体験してい

ます。日本で教育を受けて、進んだ技術を自分の国に持って帰るだけの留学生は勿体ないと思います。日本人の考えたかたや国民性こそ私たち留学生が学ぶべきものだと思います。几帳面な性格、思いやりの精神、グループワークができる協調性などなど、これらこそ私が日本での留學生活の中で得たかけがえのないものです。これからはグローバルな人材を目指して、日本と中国をより良い国にしていきたいです。

どうぞご支援をよろしく願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

#### 橋本日吉会長講評

サク・セイナンさん有難うございました。ロータリーの米山梅吉候が創った米山奨学会と縁があつて出会い、今があります。是非ともロータリー理念を忘れることなく、近い将来自国のみならず世界に視野を置いて、世界の人々の平和のために活躍をされんことをご期待致します。頑張ってください!ありがとうございました。

スマイルボックス 番 桂柳 委員 本日 ¥5,000 累計 ¥112,000

見上 周太 様(綾瀬RC)

本日はお世話様になります。

橋本 日吉 会長、辻 彰彦 幹事

サクセイナンさん、本日の卓話、楽しみにしております。宜しく申し上げます。

米山奨学委員会 北島 照介 君、伊藤 英夫 君、上田 利久 君

サクセイナンさん、今日の卓話楽しみにしていました。慶応大学からフランスに再留学された事、それぞれの大学での研究の様子を私達老人にも分かるようにお話してください。

北砂 明彦 君

誕生日祝い、ありがとうございます。53歳になります。運動不足のためか、お金は貯まらず、コレステロールや中性脂肪ばかり溜ります。

藤田 方巳 君

誕生日と結婚記念日のお祝いありがとうございます。68歳になりました。

郡司 守 君

結婚記念日のお祝いありがとうございます。夫婦して記念日が近づいてきている事、忘れてい

ます。家に帰ったら思い出して「かみさん」に話してささやかに2人して祝うことにします。

入江 公敏 君

結婚記念日のお祝いありがとうございました。

神作 彰 君

妻の誕生日のお祝いありがとうございます。

梅田 秀雄 君

女房の誕生日と結婚記念日を同時に祝って頂き、ありがとうございます。最近は二人で食事をするのが何より楽しみです。

高橋 政勝 君

入会記念のお祝いありがとうございます。所用のため早退いたしますので宜しくお願いします。

中島 康次郎 君

入会のお祝いありがとうございます。

石川 健次 君

創業記念日のお祝いの所に、名前が書いてありましたので、慌ててスマイルします。ありがとうございます。

鈴木 洋子 君

創業記念のお祝いありがとうございます。

## 『故李東建パスト会長・元ガバナー補佐について』

後藤 定毅



10月14日水曜日午前、金英伊通訳から李さんが前日亡くなったとの訃報を知らされました。ちょうど一年前の9月には私を訪ねて、奥様と友人五人で日本に来た時には、大変元気で日本を楽しみ、青柳さんにとって戴いた箱根のホテルが、日本中で最高だと喜んでいましたし、どこも悪いような感じがしませんでしたので、一瞬我が耳を疑いました。李さんが亡くなったということなど、とても信じられませんでした。信じたくなかったと言った方が良いのかも知れません。しかしすぐに現実であることに気がつき、予定をキャンセルし、その日に日本から飛んで行きました。棺の前になすすべもなく佇んでいると、こんなことになるのなら、何故あの時もっとこうしておいたら、もっとこんなことをしてあげておいたら良かったのだろうと、後悔が襲って来ました。奥様に何うと3月頃に発症し、徐々に肺癌に蝕まれて行ったようですが、心配をかけるから本人は誰にも知らせるなと言う話でした。

想えば李さんとは東慶州ロータリークラブとの姉妹クラブがご縁でした。平成9年私のクラブ会長年度の時、東慶州では故朴漢寿会長年度で李さんは副会長、そして平成12年李さんがクラブ会長の時には、大和中は故近藤会長で、私が副会長でした。加えて年齢が同じでしたので、大変仲よく付き合わせて戴きました。お互いに何度か日本、韓国を訪問しあい、李さんはユーモアが得意で、私が韓国に行く時には俺が「韓国の兄貴」だと言って世話をやいてくれ、李さんが日本に来た時には、私が「日本の兄貴」になって、家族ぐるみで親しく仲よく交際させて戴いたことが、昨日の出来事のように思い出されます。

李さんはいつも形式的なことが嫌いで、普段着の付き合いをしようが、口癖でした。だから姉妹関係の公式訪問は公式訪問として、お互いの理解や真の友情を育むためには、個人同士で付き合いを深めなければ駄目だ、というのが信条でしたし、真のロータリアンでした。

そんな李さんだから昔、平成12年に、我がクラブの上村会員が亡くなった時、会長の立場の多忙な中を通夜葬儀に駆け付けてくださったし、近藤会員がその後亡くなった後には、日本に来て近藤さんのお墓参りをされるなどして、まさに有限実行を地で行く人でした。そんな李さんの行動を見て、私は人として大切なことをたくさん教えて戴きました。

特に思い出すのは、李さんのクラブ会長年度、ロータリーが理想とする、クラブ在籍が短くても長くても、年齢に違いがあってもなくても、あるいは事業の規模や資産の多寡、冠位などの意識をすべて取り除いて、お互いに理解しあい助け合おうという方針で、25名もの仲間を増やされたことでした。その方たちが今、東慶州クラブで活躍されている姿を見ると、李さんが蒔いた種が、着実にしっかり実りだしているように思います。

私が2010年、ガバナーになった時も、自分のことのように喜び、温かく励まして戴いたことが、懐かしく思い出されます。その李さんとこのように急な形で幽明境にして、突然のお別れをすることになるとは、今でも信じられない思いです。

あの穏やかな笑顔と高い見識、多くの人に慕われた李東建さんを失って、私は今もなお、ただただ茫然としています。きっと東慶州の多くの人たちが、言い表せない同じような寂しい気持ちでいっぱいだろうと思います。

日本には「人の評価は棺を覆いて定まる」という言葉があります。葬儀の日、東慶州ロータリークラブ葬において、李さんの最後を涙で見送るロータリアンや、一般の大変多くの人たちが、口々に人柄と功績を称えて別れを惜んでいたことは、その何よりの証ではないでしょうか。

遠かれ遅かれ死は誰にでもやって来るものです。いつか彼岸で李さんに会った時に、私も「後藤駄目だな。やっぱりここでも俺が兄貴だ。」と笑われないように、政治的には難しい日韓関係ですが、一個人としてロータリーが理想とする世界平和のために、日本と韓国の親善交流をさらに深められるよう、残された者としての責任をしっかり果たしていくことを誓わなければならないと思っていますところでは。

最後に、李さんの御霊が安らかな眠りにつかれますことをお祈りします。合掌……。